

『輸送DX』による健康管理向上と 事故防止の取り組みについて

～ ドライバーの「健康」と「安全」を同時に見守り
事故リスクを予測（SSCV※）～

※SSCV (*S*mart & *S*afety *C*onected *V*ehicle)

安全運行管理ソリューション

安全/体調管理/運行管理/技能指導/効率化を実現するトータルソリューション

2022年2月21日

株式会社日立物流 営業統括本部
輸送事業強化PJ SSCV強化グループ

部長 南雲 秀明





1. 会社紹介
2. 健康管理向上による事故防止の取り組みと
SSCV-Safetyのご紹介
3. 官公庁との取り組み
4. まとめ



- 1. 会社紹介**
- 2. 健康管理向上による事故防止の取り組みと
SSCV-Safetyのご紹介**
- 3. 官公庁との取り組み**
- 4. まとめ**



企業概要

概要

- 商号：株式会社 日立物流
- 創業：1950年2月
- 代表者：中谷康夫
- 資本金：168億円

- 売上収益：6,524億円 (2021年3月期)
- 上場：東証一部 (1989年二部 1990年一部)
- 連結社員：22,682人(2021年3月末現在)
- グループ人員：43,729人(2021年3月末現在)

提供サービス

3PL



- 調達物流 **4,435億円**
- 販売物流
- 静脈物流
- 共同物流サービス
- 輸送サービス

重量機工・移転



- 電力プラント **(352億円)**
- 交通インフラ ※開示セグメントの国内・海外売上の内数
- 産業プラント
- 各種機械設備輸送据付
- 法人向け移転サービス

フォワーディング



- 航空輸送 **1,011億円**
- 海上輸送
- クロスボーダー
- インターモーダル
- 海外イベント関連／展示会

自動車部品物流



- 倉庫サービス **925億円**
- 輸送サービス
- 最適化サポート
- 付加価値サービス
- 情報・物流技術

当社のDX戦略

【基本方針】

CPS(Cyber Physical System)と協創による価値創造



経済産業省が定めるDX認定制度において、「DX認定取得事業者」としての認定を取得

倉庫



SMART:WAREHOUSE

スマートウェアハウス

事業の成長にフィットするEC物流

SCM



SCDOS

サプライチェーン改善を高速化

輸送



すべての運ぶに安全を



- 会社数 : 98社
- 拠点数 : 752拠点
- 倉庫面積 : 753万 m^2
- 人員数 : 43,729人

北米

10社 / 48拠点 / 26万 m^2
2,540人

メキシコを含む

欧州

13社 / 83拠点 / 51万 m^2
4,210人

日本

26社 / 330拠点 / 527万 m^2
28,671人

東アジア

25社 / 129拠点 / 51万 m^2
1,324人

中国、香港、台湾、韓国

アジア

24社 / 162拠点 / 99万 m^2
6,984人

オセアニア地域を含む

29の国と地域に ネットワークを展開

※会社数は、持分法適用関連会社を含む
※拠点数・倉庫面積は、エーアイティーグループ・HTB-BCDトラベルグループを除く
※人員数は、持分法適用関連会社を除く



- 会社数：98社
- 拠点数：752拠点
- 倉庫面積：753万㎡
- 人員数：43,729人

日本

26社 / 330拠点 / 527万㎡
28,671人

3PLの当社Gr.も、日本国内では

約1,300台の自社車両をもって

輸送事業を行っている会社です

10社 / 48拠点 / 25万㎡
2,540人

メキシコ

4,210人

東アジア

5社 / 120拠点 / 51万㎡
1,324人

中国、香港、台湾、韓国

24社 / 162拠点 / 99万㎡
6,984人

オセアニア地域を含む

29の国と地域に
ネットワークを展開

※会社数は、持分法適用関連会社を含む
 ※拠点数・倉庫面積は、エーアイティーグループ・HTB-BCDトラベルグループを除く
 ※人員数は、持分法適用関連会社を除く



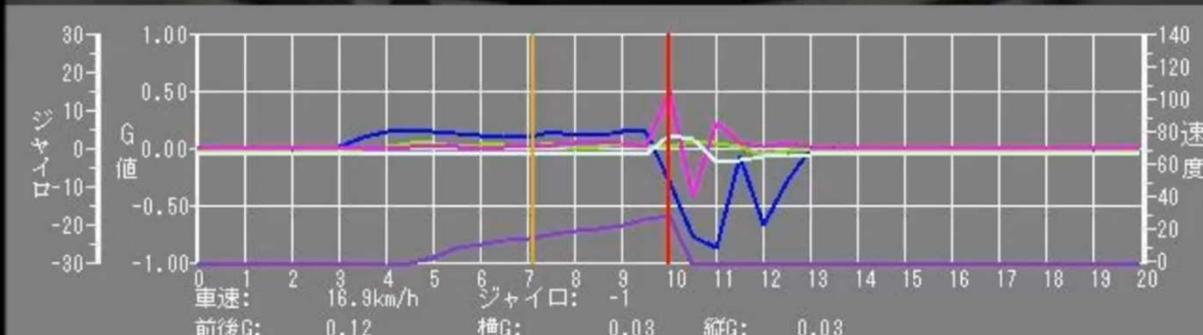
1. 会社紹介

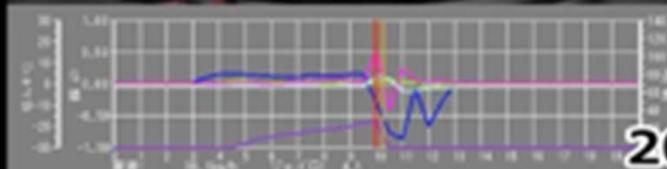
2. 健康管理向上による事故防止の取り組みと SSCV-Safetyのご紹介

3. 官公庁との取り組み

4. まとめ

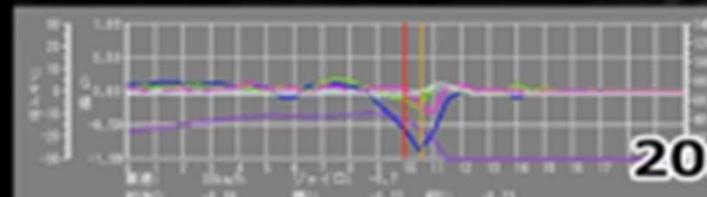
はじめに、こちらをご覧ください



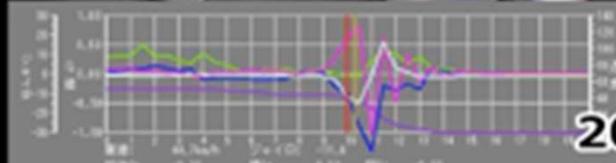


2015/7/23

全てノーブレーキによる 追突事故



2015/10/27



2015/12/7

同一事業所で半年間に連続3件の追突事故発生

事故の瞬間（ドライバーは？）



・居眠り

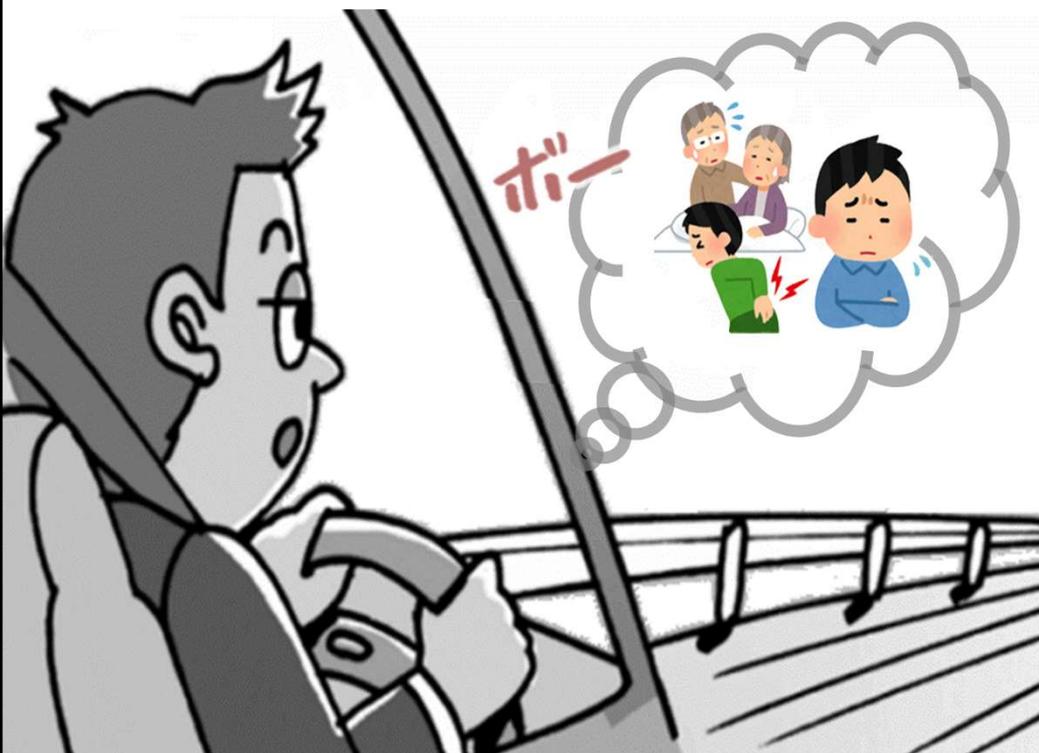
・脇見

・携帯操作

していない

ではいったいなぜ？ 防げなかったのか？

ドライバーへの 事後ヒアリング



浮かび上がった事実

【背景】

- ・奥さんが闘病中で、悩んでいた
- ・親の介護で慢性的な精神疲労が続いていた

【背景から推測される間接原因】

- ・運転中に考え事をしていた
- ・ボーっとする状態で運転していた様な気が・・・
- ・瞬間的に意識が飛んでいたかもしれない・・・

見ているようで見えていない状態

事故の原因

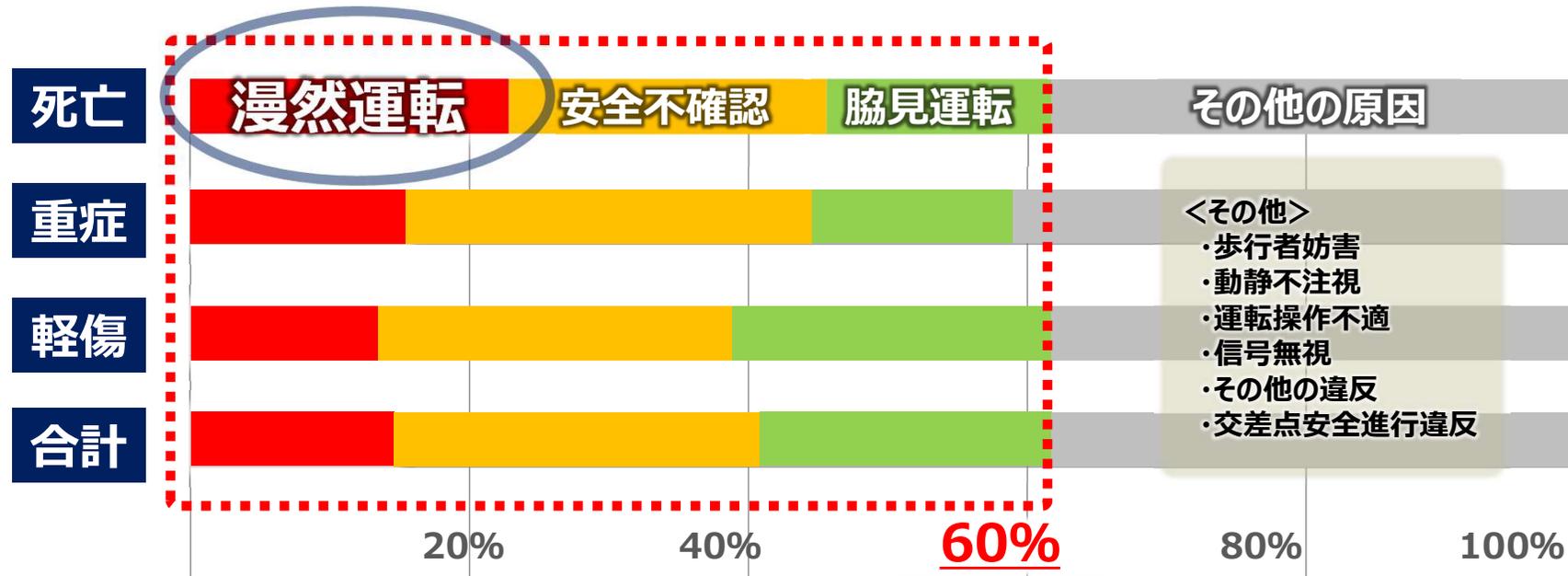
A grayscale photograph of a truck driver in a cap, looking tired or drowsy while driving. The image is semi-transparent and serves as a background for the text.

漫然運転

疲労からくる、体調の変化が原因・・・



事故種別



【出典：交通事故総合分析センター（ITARDA）】



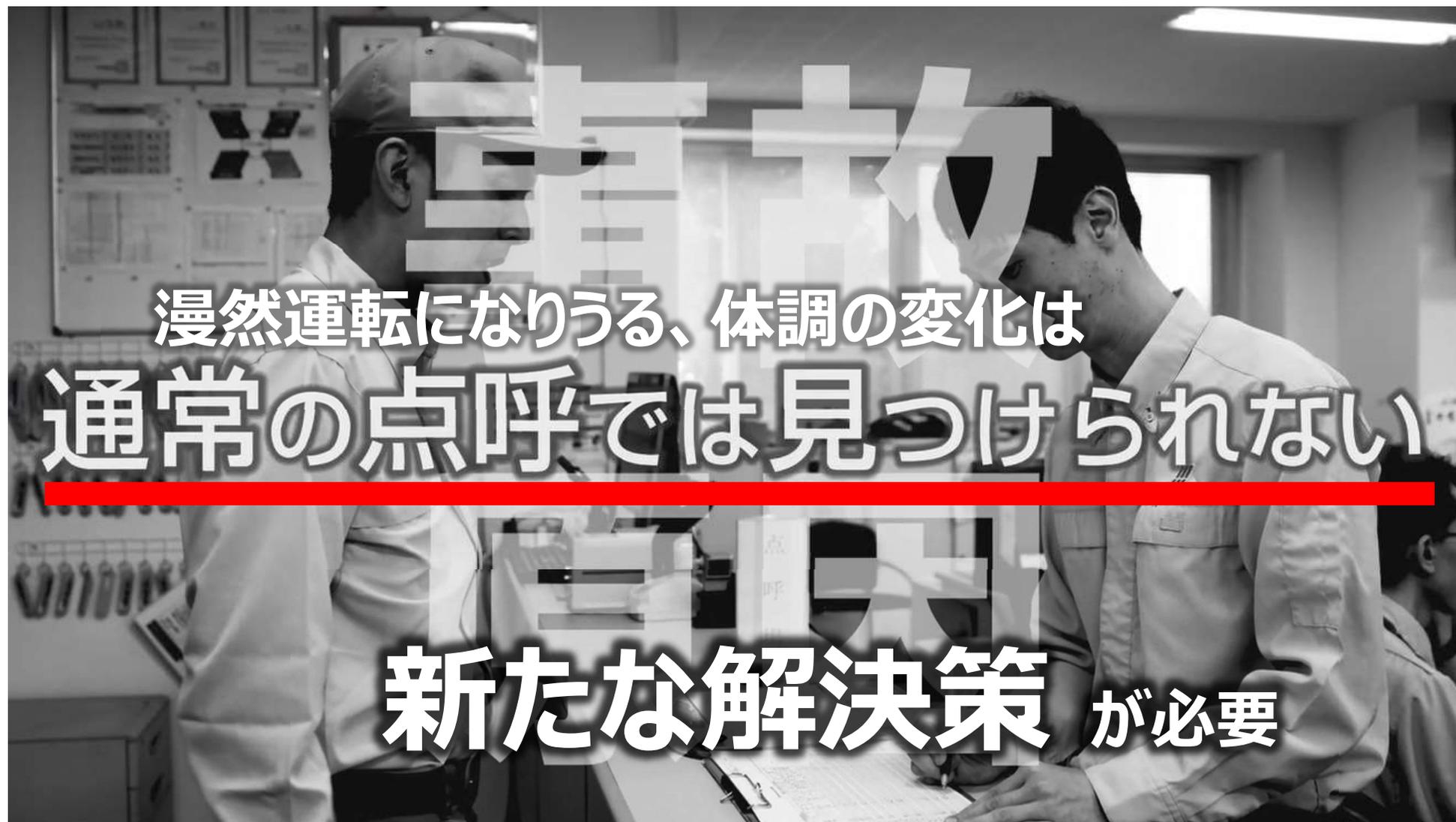
約60%が「漫然運転」とその関連要因である

「安全不確認」「脇見運転」等の対策はしてきたが



漫然運転に繋がる要因はドライバーすら気付いていない
 事前に注意のしようがなく、通常の安全教育だけでは防げない

- ✓ 従来の事故防止策や、機器、サービスでは「疲労」「ストレス」を把握した運行管理は不可能
- ✓ ドライバー任せの安全対策では気づくことができない、危険の芽が増加している
- ✓ 漫然運転による事故は、トラック・バス・タクシーなど輸送事業者全体の課題である



緊急事態

漫然運転になりうる、体調の変化は

通常の点呼では見つけられない

新たな解決策が必要



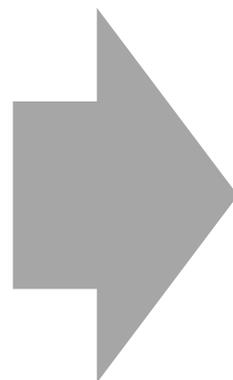
体調起因による事故は、その大半が **悲惨な重大事故** に！

As-Is

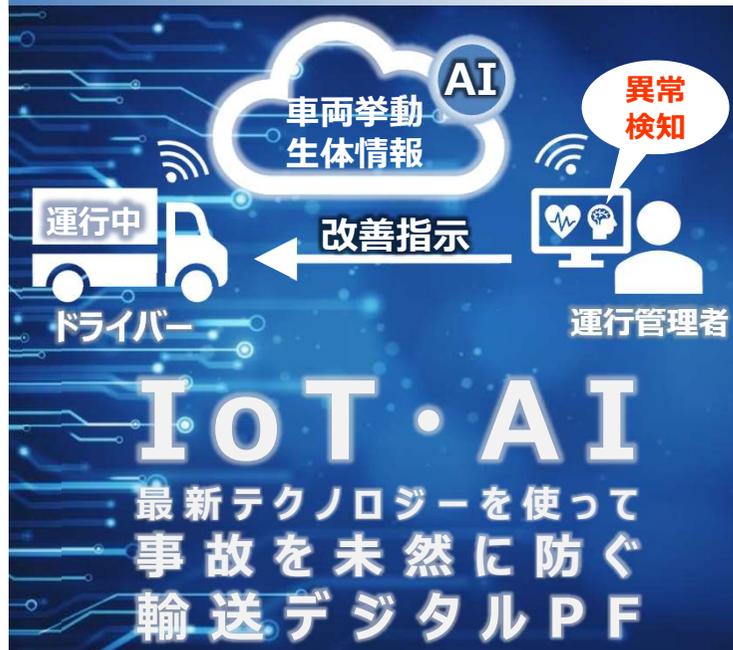
車庫を出発したら...

**ドライバー
任せ**

漫然運転は
本人も気づけない



To-Be



ドライバー任せではなく、会社として組織的に取り組む

ドライバーを **被害者** にも **加害者** にもさせない



1件の重大事故を防ぐためには・・・

その裏に潜んでいる**300件**のヒヤリハットを全滅させることができれば、論理的に回避することができる

ハインリッヒの法則

1件 の重大な事故

29件 の軽微な事故

300件 のヒヤリハット

運行中の「疲労」と「運転行動」をリアルタイムで “**完全に見える化**”



SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle

輸送を支える。社会を良くする。

効率化
Smart

業務効率向上
法令順守

安全
Safety

安全運行管理
事故ゼロの社会

車両管理
Vehicle

車両の一元管理
点検・整備の最適化

輸送DXによるサステナブルで強い輸送事業



No.1 漫然運転の原因はドライバーの「疲労」と「体調変化」市販の単体デバイスを試すも、手がかり見つけられず

仮説

データ抽出

単体デバイスだけでは限界と判断
⇒ 自社開発に着手することを決意

単体デバイス試験

ワークショップ

No.2 「産官学」連携の実施 仮説理論の学術的立証（疲労と事故リスクの相関性を解明）

研究

論文化

大阪大学
大阪市立大
日本疲労学会理事
倉恒弘彦 教授

理化学研究所
日本疲労学会
理事長
渡辺恭良教授

No.4 実業を生かした、現場での実証 トライ&エラーサイクルの高速化

課題分析

開発

結果検証

バイタルで再測定機能が必要

管理者用一覧が欲しい

グラフィカルなKPIが必要

区分を付けたい

コメントも必要

No.3 自社トラック1,300台での1年以上に渡るPoC 利用者であるドライバー心理の把握

導入

テスト

ドライバーヒアリング

監視ですか
効果あるの
コストは
業務が増える
複雑なんでしょ
などなど...
どうすれば



2019年5月18日 第15回日本疲労学会総会・学術総会

【テーマ名】

運転操作情報の分析と主観的・客観的疲労測定に基づく「事故リスク予測技術」

体調測定(疲労) } 相関性を解明
ヒヤリハット事象 } ↓

本来別指標である2者の相関性を解明、アルゴリズム化

■Phase I (2019年度)

運行前後の体調と事故リスク

- 2019年5月 知財出願：特許出願済
- 2019年5月 学会発表：日本疲労学会
- 2020年9月 論文掲載『PLOS ONE』

データ収集：
4,000人日分

運行前後の体調から事故
リスクを事前に予測

■Phase II (2020年度)

運行中の体調と事故リスク

- 2020年8月 知財出願：特許出願済
- 2020年9月 学会発表：生体医工学会
- 2020年11月 学会発表：疲労学会
- 2021年10月 学会発表：EMBC(国際学会)
- 2021年10月 論文掲載『PLOS ONE』

データ収集：
1,200人日分

運行中の体調リスクを検知
通知により危険回避

■2019年5月18日 第15回日本疲労学会総会・学術集会



研究成果を学会発表



(査読付き科学雑誌)





■ 3つのDXで実現する安全管理ソリューション

予測する

体調・疲労状態の可視化

見守る

危険走行を検知し発報・通知

振り返る

ヒヤリハットイベントの確認

ドライバー向け

体調・疲労
測定機能



ドライバーの体調や
疲労を測定



体調総合
判定



ヒヤリハット
予報



体温



血中酸素
濃度



血圧



自律神経

走行状況、ドライバーの
疲労状態を検知し、
危険運転や危険状態を
リアルタイムでアナウンス



危険走行
注意喚起

特許出願中



通信型
ドラレコ



スマート
フォン



IoT
ボタン



心電
センサー

管理者向け

ダッシュボード
機能



ドライバー個人ごとの
体調や疲労状態を把握し
事故リスクを事前に予測



体調総合
判定



ヒヤリハット
予報



特許出願中

ドライバーに迫る危険状況をメール通知
全車両の位置と全ドライバーの
疲労状態把握も可能



有事情報
通知

特許取得



車両位置・
ストレスレベル
見守り

特許出願中



AI・機器が検知し自動で切り取られた
動画がクラウド経由で確認可能

※SDカードの抜き取り不要

その日起きたことを、その日のうちに！
短時間で、共有・振り返り



運行ルートと
イベントの位置

イベント動画/
検知内容

特許出願中



運行ルート
振り返り



運転評価
コメント入力

ヒヤリハット動画の種類

法令違反	一時不停止	速度超過	
急制動	急発進	急減速	急ハンドル
危険運転	車間距離不足	衝突事前	脇見
	衝撃		

※付属デバイスの構成は変更になる可能性があります

予測する “DX”

体調・疲労状態の可視化

体調や疲労状態を把握して 事故リスクを事前に予測

点呼前にバイタル測定結果による客観値及び個人の傾向値にて
当日の体調・疲労の傾向を定量的に総合評価



自律神経測定中

特許出願中

事故リスク予測アルゴリズム

2020/10/07 XX営業所
社員ID : ドライバー名

出発前 帰着後

乗務判断 (*不適時は入力必須) 点呼一覧

ヒヤリハット予報機能

体調総合判定

健康状態

☀️ 気をつけて行ってらっしゃい
測定結果に問題はありません。
不調を感じたら運行管理者に連絡してください。

疲労状態

☀️ 疲れは取れましたか?
今日もいつもと同様に
安全運転をお願いします。

<p>体温</p> <p>良好</p> <p>36.2 °C</p>	<p>血中酸素濃度</p> <p>良好</p> <p>98%</p>	<p>血圧</p> <p>良好</p> <p>最高 125 最低 82 mmHg</p>	<p>疲労レベル</p> <p>すっきり</p> <p>こまめな水分補給を 忘れずにしましょう。</p>
------------------------------------	------------------------------------	--	--



体温



血中酸素濃度



血圧



自律神経

ドライバー：ヒヤリハットが出やすい日であることを、出発前に自覚できる

管理者：経験と勘⇒定量把握 ヒヤリハットが出やすいドライバーを特定して手厚くフォロー

体調総合判定

ヒヤリハット予報

“注意”と出たら、
ヒヤリハットが
出やすい状態

The dashboard is divided into two main sections: '健康状態' (Health Status) and '疲労状態' (Fatigue Status). The '健康状態' section is highlighted with a green dashed border and shows a green sun icon with the text '気をつけて行ってらっしゃい' (Drive safely). Below this, it states '測定結果に問題はありません。不調を感じたら運行管理者に連絡してください。' (No problems with measurement results. Contact the operating manager if you feel unwell.) and includes a '乗務判断入力' (Input for crew judgment) button. The '疲労状態' section is highlighted with an orange dashed border and shows a cloud icon with the text 'ヒヤリハットに注意' (Pay attention to near-miss incidents) and 'いつも以上に車間距離を取り安全運転を心がけてください。' (Please maintain a larger following distance than usual and drive safely). Below this, it shows '疲労レベル' (Fatigue level) with a 'ぐったり' (Drooping) status and a silhouette of a person slumped over, with text asking if the driver is tired and suggesting pre-departure stretching and in-trip breaks.

Navigation: ホーム (Home), 点呼 (Attendance), イベント (Events), 運行管理状況 (Operation Management Status), 安全KPI (Safety KPI)

Buttons: 出発前 (Before Departure), 帰着後 (After Arrival)

Health Status (健康状態):

- 体温 (Body Temperature): 良好 (Good), 36 °C
- 血中酸素濃度 (Blood Oxygen Saturation): 良好 (Good), 98%
- 血圧 (Blood Pressure): 良好 (Good), 最高 95, 最低 41 mmHg

Fatigue Status (疲労状態):

- 疲労レベル (Fatigue Level): ぐったり (Drooping) していませんか? (Are you drooping?)
- 疲れは残っていませんか? (Is the fatigue still there?)
- 出発前のストレッチでスッキリ。 (Refresh with stretching before departure.)
- 途中でおやつタイムを設けて身体を回復させましょう。 (Set a snack time during the trip to help your body recover.)

予測する
体調・疲労状態の可視化

見守る
危険走行を検知し発報・通知

振り返る
ヒヤリハットイベントの確認

運行中

見守る“DX”

危険走行を検知し発報・通知

運行中のドライバーの危険運転・危険状態などを**検知** ⇒ **リアルタイムで注意喚起**

ポイント① 運転中の各種データを捕捉

ポイント② 各種危険運転や危険状態を検知

見守る“DX”：ドライバー向け



「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です

衝突事前	車間距離不足
一時不停止 速度超過	疲労レベル高
脇見	急制動 急発進、急減速、急ハンドル

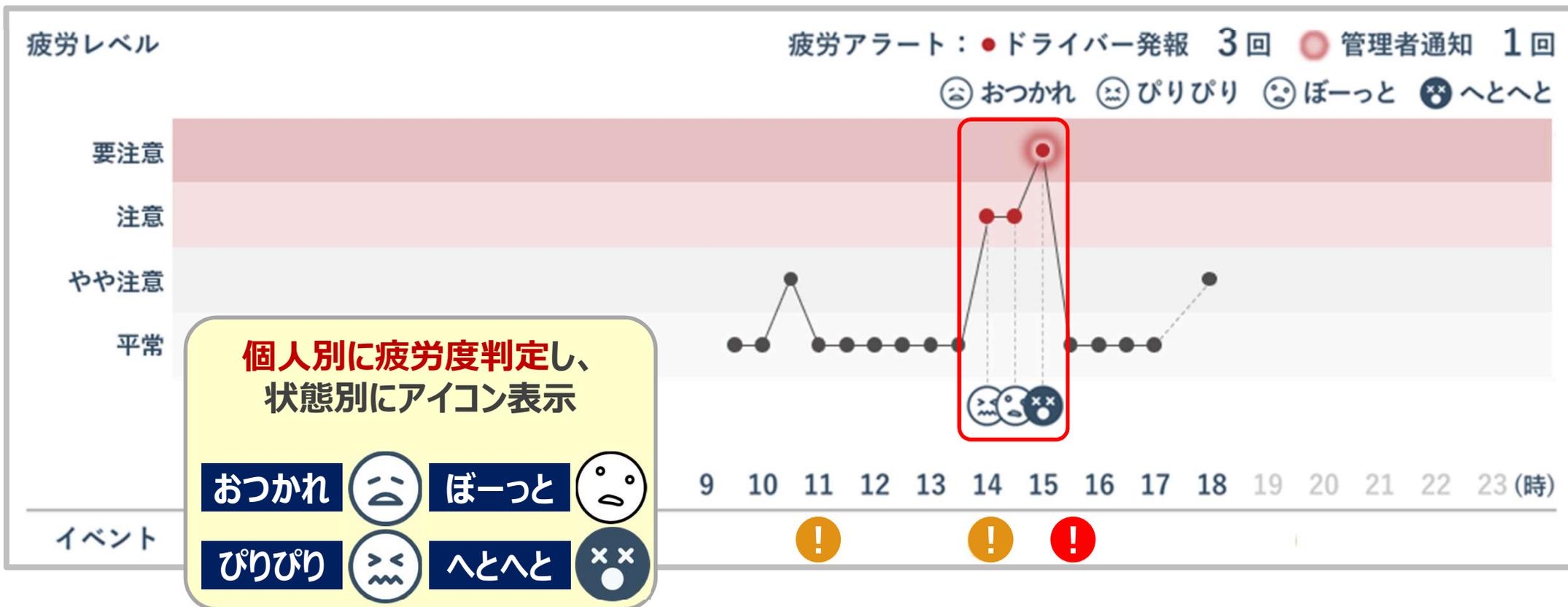
※機種によって検知するヒヤリハットイベントは異なります

見守る“DX”

危険走行を検知し発報・通知

運行中のドライバーの危険運転・危険状態などを**検知** ⇒ **リアルタイムで注意喚起**

運行中のドライバーの疲労を**個人別に判定**し、明らかに普段とは異なる傾向の際にドライバーへ音声にて通知し、状態の改善を促す



ポイント

機能強化：個人別判定及び各種疲労状態の把握が可能 → 「ぼーっと」している状態も検知可能となり、**漫然運転撲滅**を図る（通知・認知・アクション）

見守る“DX”

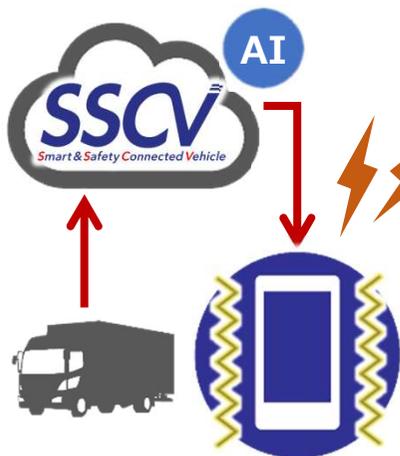
危険走行を検知し発報・通知

危険な状況を随時管理者へ
メッセージ通知（事象・位置・動画）

真にフォローすべき危険な状況を随時管理者へ **メッセージ通知**（事象・位置・動画）

見守る“DX”：管理者向け

特許取得 = 弊社独自の技術
(特許第6714036号)



事象

位置

動画

例：衝突事前警報



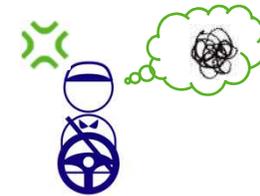
AIにより自動検知された
20秒のインシデント動画



衝突事前



車間距離不足



疲労状態

振り返る“DX” ヒヤリハットイベントの確認

センサー及びAIにて検知したヒヤリハットイベントを
**自動でショート動画化することで、
容易に振り返りができる点呼環境を実現**

ポイント① 一日の運行の軌跡をマップで表示

ポイント② ヒヤリハットイベントの位置・動画・検知内容・時刻を表示

疲労レベルの推移

疲労アラート：●ドライバー発報 3回 ○管理者通知 1回

☹️おつかれ ☹️びりびり ☹️ぼーっと ☹️へとへと



イベント

! ! !

AIにて自動検出された事象

- 11:20 脇見 確認済 2022/02/03 21:02
- 14:13 急減速 その他 2022/02/03 18:49
- 15:37 前方衝突警報 確認済 2022/02/03 18:26

運行ルート



切り出される ショート動画の種類

法令違反

一時不停止	速度超過

急制動

	急発進
急制動	急減速
	急ハンドル

危険運転

車間距離不足	衝突事前
脇見	衝撃

特許出願中 動画や体調の推移を見て、ドライバー一人一人に最適な教育が可能

当日のヒヤリハットイベントは、その日のうちに確実に潰し込み

ログ確認

日付: 2022/02/01

運行ルートとインシデント一覧

車両: あ4094

14:44 一時不停止

16:07 脇見

17:27 速度超過

**形骸化しがちな帰着後点呼を
振り返り教育の場に変革!**

**帰着後点呼時に
短時間で動画を振り返り、教育
⇒翌日以降の改善につなげる
⇒また、指導内容も記録**

運転イベントアラート詳細

ニックネーム

イベントサマリ

発生イベント: 一時不停止
発生時刻: 2022/02/01 14:44
車両: あ4094
評価区分: 確認済
評価日時: 2022/02/02 13:54
評価者:
発生位置: 静岡県富士市今井

評価区分とコメントを入力してください

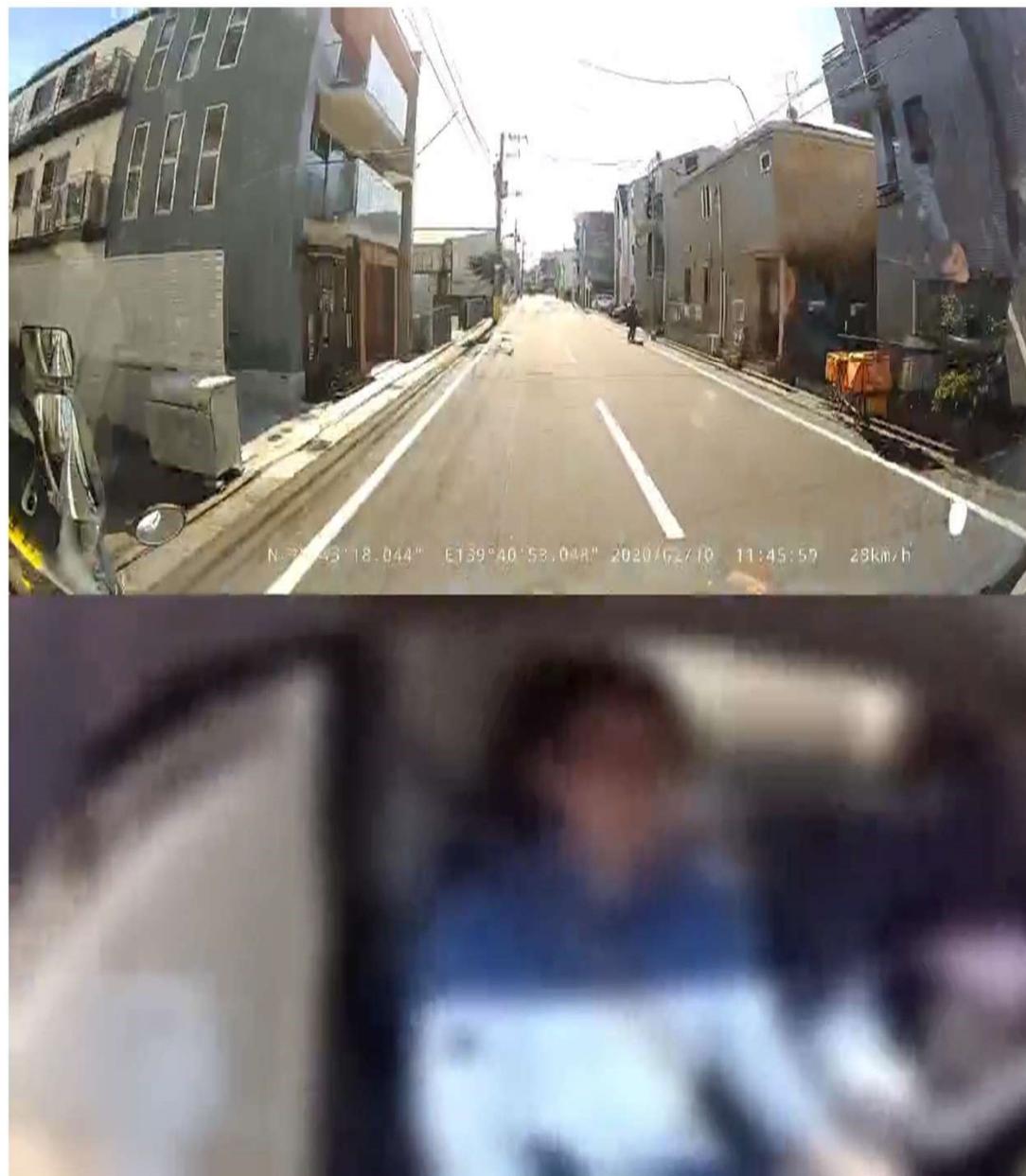
評価区分: 00: 確認済

コメント: 確実に停止する様、指導

ニックネーム:

取り消し 登録

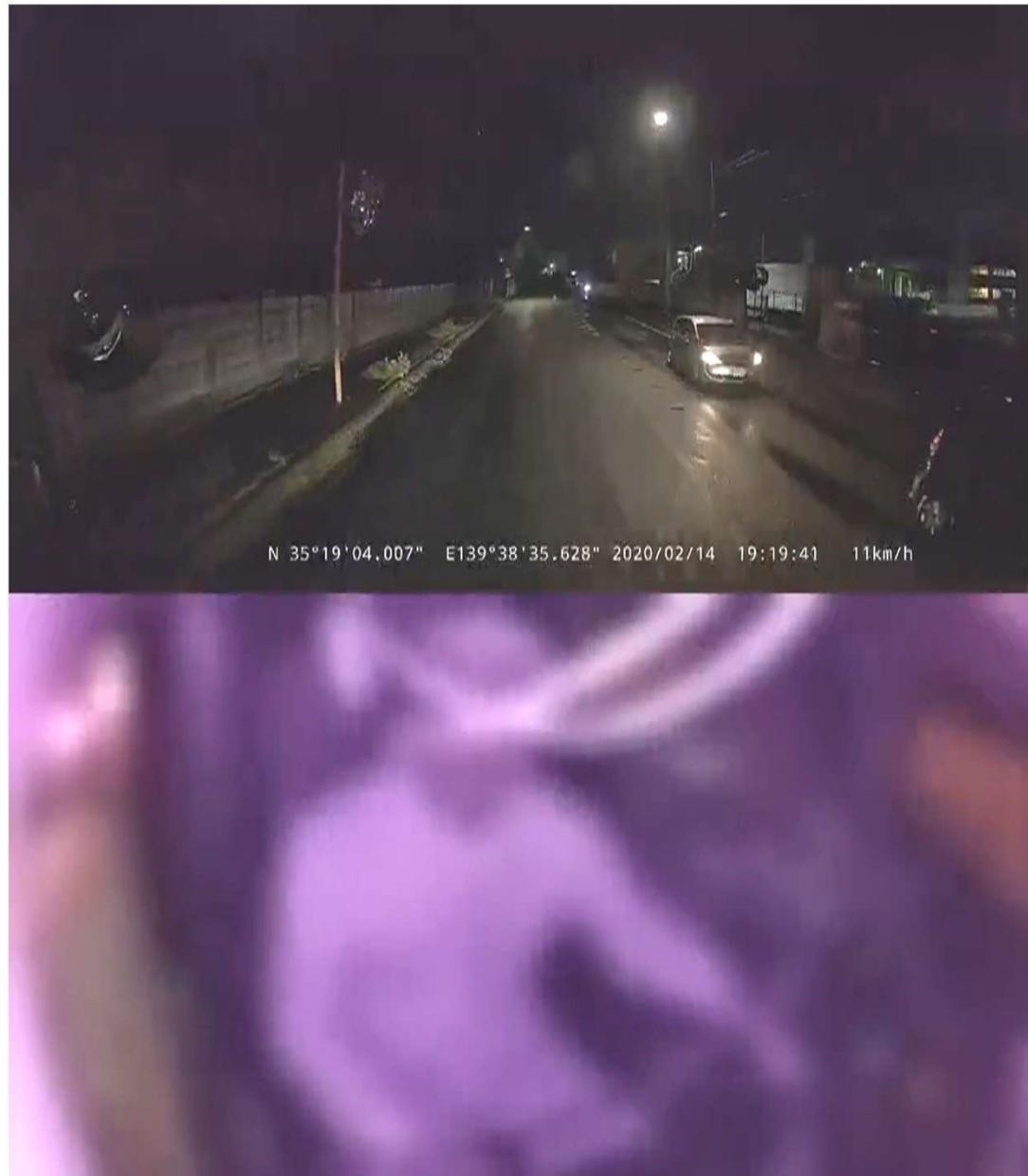
実際に切り出された動画の一例（一時不停止）



実際に切り出された動画の一例（衝撃）



実際に切り出された動画の一例（急減速）





ドライバーの主観で感じた『**AIでは検知出来ない他責によるヒヤリハット**』を、
イベント動画として記録、また安全確認行動のエビデンス＝ドライバー評価にもつなげている

IoTボタン押下にて他責による**ヒヤリハット**や事故渋滞や道路工事情報を共有



あ、危ない！
逆走車だ！



他車による**幅寄せ**！



IoTボタン押下！



他車両の割り込み



事故回避



落下物



工事



他車両事故

ドライバーが自発的に押すことで、**30秒さかのぼって** 動画を記録



AIで検知できない

実際に切り出された動画の一例（他責）



後方から車両が接近！





漫然運転に起因した車両事故



0件

2016年以降

継続中

ヒヤリハットイベントの総発生件数



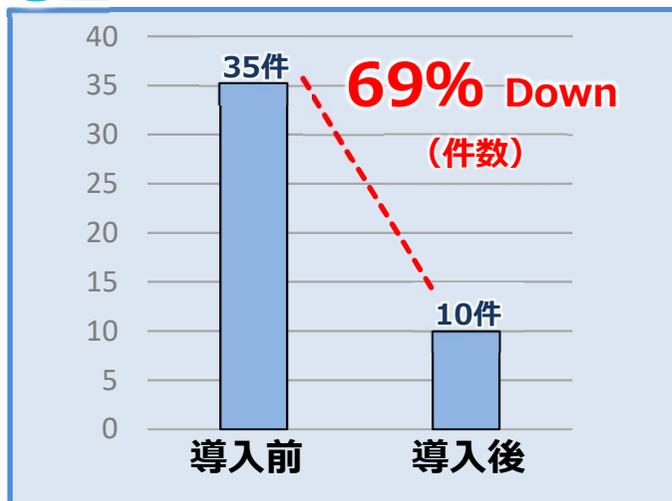
その他の導入効果

- ✓ ドラレコ映像の確認がピンポイントとなり効率的になった
- ✓ ドライバー個々のクセを確認出来る様になり教育の質が上がった
- ✓ ドライバー自身が体調管理に以前より気を付けるようになった
- ✓ ドライバーの公正な評価が可能となった
- ✓ ドライバーとのコミュニケーションの活性化

■ 定量効果



事故件数 (当社実績)

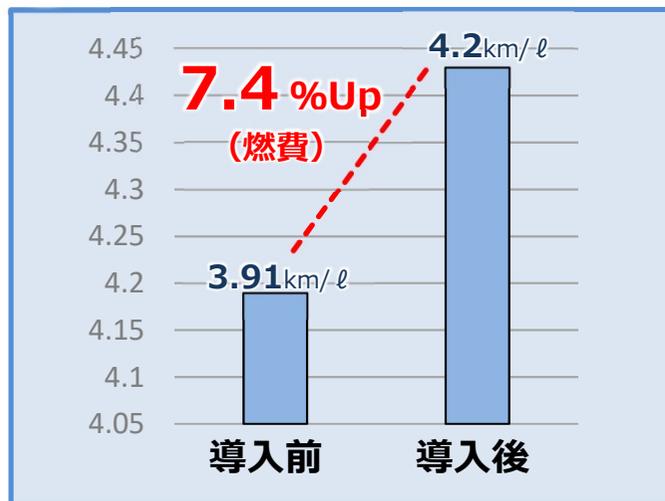


危険の芽を摘み取ることで車両事故が減少、事故ロスコスト削減に貢献

約2,300円/月/台



燃費 (当社実績)

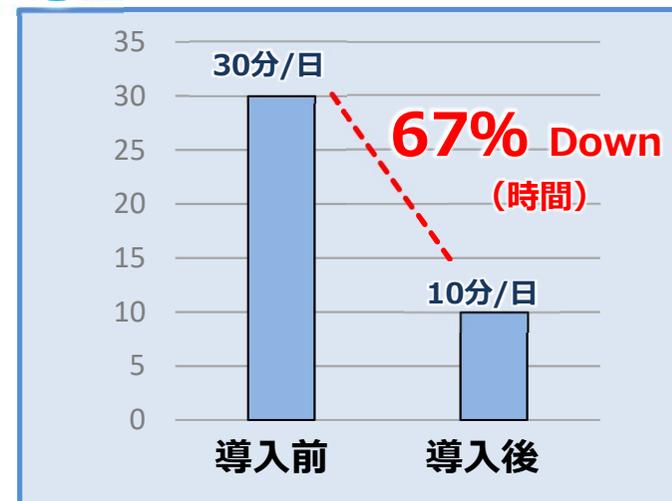


急加速/減速の改善や車間距離を保つエコドライブにより燃費が向上

約5,300円/月/台



管理者工数 (当社実績)



危険運転の動画を自動で生成するため、SDカードのチェックが不要 (教育効率化)

約1,400円/月/台

合計 約9,000円/月/車両の削減効果がみられました



■ 定性効果

1 法令違反減少による
ドライバーの安全意識の高まり

交通ルールはしっかりと守る
意識向上と安全文化の醸成

2 ドライバー教育の質向上

具体的な画像等を用いて
ドライバーに気づきを与える

ドライバーはスマホでも振り返りが可能

3 エコドライブの向上、
CO2排出の削減

地球環境にやさしい経営

※ESG、脱炭素化への貢献

データに基づく公平なドライバー評価の実現、
ドライバーと運行管理者が互いに安全のために取組み

真のパートナーに



2024問題 対応に向けて、ドライバー、運行管理者の作業工数を大幅削減

アルコールチェッカー 連動

デジタル記録・管理できることで不正や誤記入の防止に貢献！
《2022年春リリース予定》

点呼簿 デジタル化

点呼時間の短縮、点呼簿のペーパーレス化と保管管理の効率化！
《2022年春リリース予定》

車両点検簿 デジタル化

日々の点検結果をデジタル化ペーパーレスと効率化に貢献！
《2022年春リリース予定》

SSCV
Smart & Safety Connected Vehicle



ドライバーの安全に寄り添う



眠気予兆 検知

瞼を一定時間閉じている状態をリアルタイムに検知しドライバーへ警告アナウンス
《2022年春リリース予定》

ヒヤリハット マップ

独自のハザードマップを作成ドライバーへ可視化による指導！
《2022年3月末リリース予定》



1. 会社紹介
2. 健康管理向上による事故防止の取り組みと
SSCV-Safetyのご紹介
3. 官公庁との取り組み
4. まとめ

運行管理高度化検討会で実施の実証実験（遠隔点呼）
 において、点呼の確実性を測る手段として

“SSCV-Safety” を指定機器としてご活用頂きました

- 対象と期間：バス・タクシー1社ずつの2社に対して2ヶ月間（2021年 10月・11月）
- 調査内容：点呼の確実性を測ると同時に、運転手の健康状態の定量的な計測や運行中のヒヤリハットの発生状況の相関性について調査を実施



1社/6人



1社/2人

＜国交省で指定する機器＞
 日立物流 スマート安全運行管理システム
 SSCV (Smart & Safety Connected Vehicle)



各種機能（運行前後体調測定 + 運行中バイタル + 車載機器）



自動車運転者の疲労度の医学的な調査に関する事業において、
“SSCV-Safety” の有効性を評価頂き、ご活用頂きました



4社/16人



4社/16人



2社/8人

- 調査期間：約4ヶ月間
- 目的：法令改正(改善基準告示見直し)の支援

＜厚労省 調査事業で使用した機器＞

日立物流 スマート安全運行管理システム

SSCV (Smart & Safety Connected Vehicle) Smart & Safety Connected Vehicle



各種機能（点呼＋運行中バイタル）





株式会社大運組様

(香川県高松市)

代表取締役：松本 英高様

兼 全日本トラック協会 交通対策委員会 小委員会委員

兼 香川県トラック協会 副会長

大切なドライバーを
守るために
導入を決めました



■ 導入後の感想

ドライバーの声

- ✓ 運転時、心に余裕ができた
- ✓ 注意すべきことがよくわかった
- ✓ 最初は嫌だったが、今は取り付けてもらって良かった
- ✓ 自分の健康を意識するようになった
- ✓ 最初は車内の機器に違和感を感じたが、今はほとんど気にならない
- ✓ 今までと運転が変わった。一時停止、スピード超過、巻き込み確認など、今までよりも気をつけるようになった

管理者の声

- ✓ 漫然運転だけでなく漫然作業の防止にも効果があった。(ヒヤリハット予報で曇りマークが出ていた日に構内で接触事故があった)
- ✓ ドライバーの性格が良く分かる様になった

コミュニケーションが活発に
(ドライバーの性格までわかるようになった)



「内閣総理大臣賞」を受賞、「4トン部門」「トレーラ部門」で優勝



2021.10.23～24



内閣総理大臣賞受賞の島村選手



HITACHI
Inspire the Next

News Release

2021年10月26日

第53回 全国トラックドライバー・コンテスト 「内閣総理大臣賞」を受賞、「4トン部門」「トレーラ部門」で優勝

株式会社日立物流は、10月23日から24日にかけて開催された「第53回 全国トラックドライバー・コンテスト」（主催：公益社団法人全日本トラック協会）において、当社グループのトラックドライバーが、内閣総理大臣賞をはじめ、各部門で好成績をおさめましたのでお知らせします。

本コンテストは、プロトラックドライバーに求められる高度な運転技能と、関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、安全意識の高揚と交通事故防止活動の推進を目的に開催されるもので、各都道府県大会を勝ち抜いた108名の選手が日ごろの業務で培った技能と知識を競い合いました。当社グループからは計9名（4トン部門：3名、11トン部門：3名、トレーラ部門：3名）が参加し、4トン部門では㈱日立物流西日本の島村相美選手（香川県）が総合得点987点、トレーラ部門では㈱日立物流首都圏の清田恭平選手（千葉県）が総合得点986点でそれぞれ優勝しました。また、島村選手は、全部門を通じて総合得点1位の選手に贈られる内閣総理大臣賞を受賞しました。

当社グループは、今後もトラックドライバーの法令遵守と運転技能・車両構造等に係る専門的な知識の向上を図り、安全意識の高揚と交通事故防止に努めてまいります。



内閣総理大臣賞受賞の島村選手(左)と
トレーラ部門優勝の清田選手(右)



当社グループの入賞者

4トン部門		
優勝	島村 相美選手	㈱日立物流西日本
※内閣総理大臣賞受賞		
4位	田中 伸也選手	㈱日立物流西日本
11トン部門		
5位	小松 利光選手	㈱日立物流東日本
トレーラ部門		
優勝	清田 恭平選手	㈱日立物流首都圏
2位	青山 道 選手	常盤海運㈱

当社グループの入賞者一覧

～ SSCV-Safetyがドライバーの運転技量の底上げにも寄与 ～



1. 会社紹介
2. 健康管理向上による事故防止の取り組みと
SSCV-Safetyのご紹介
3. 官公庁との取り組み
4. まとめ



SSCV-Safetyは、世の中にあるドラレコやデジタコとは異なり、ドライバーの健康と安全を同時に見守り、事故リスクを予測することができる、唯一無二のソリューションです

POINT①

「健康」と「安全」を 見守る

唯一無二のソリューション

- ✓ 今後、よりドライバーの健康管理が求められる時代が到来。SSCV-Safetyは世の中に先駆けて、ドライバーの「健康」と「安全」を同時に見守ることが出来る唯一無二のソリューションです
- ✓ 行政もドライバーの健康管理を厳しく規制する中、官公庁様からも着目頂いています

POINT②

事故リスクを 予測

予測する・見守る・振り返る

- ✓ 世の中のドラレコの多くは、事故が起きた後の検証に使用されるが、SSCV-Safetyは、出発前にドライバーの事故リスク＝運転に適した状態か否かを判断し、当日の事故リスクを予測するため、事故が起きる前に何かしらの対策が可能です
- ✓ 運転のクセだけではなく、ドライバーの健康・疲労状態を可視化することで、運転技術や精神論に頼らない対策が可能です

POINT③

輸送事業の
実業者だからこそ

精度と使い勝手

- ✓ 自社車両1,300台、約2年間の使用実績があり、検知すべきヒヤリハットの精度を向上させてきました
- ✓ 「現場の声」を拾い上げ改良を重ね、ドライバー、運行管理者、管理部門など、様々な立場のメンバーにとって使い勝手のよいソリューションです



輸送事業者が抱える課題を解決し事業成長を支えることで、社会インフラとしての物流の発展に寄与します
そして、持続可能な物流を実現することで、社会に対して貢献します



『輸送DX』による健康管理向上と 事故防止の取り組みについて

～ ドライバーの「健康」と「安全」を同時に見守り
事故リスクを予測（SSCV※）～

※SSCV (Smart & Safety Connected Vehicle)

安全運行管理ソリューション

安全/体調管理/運行管理/技能指導/効率化を実現するトータルソリューション

2022年2月21日

株式会社日立物流 営業統括本部
輸送事業強化PJ SSCV強化グループ

部長 南雲 秀明

